

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 負傷事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット事例
2. 体験した事例の名称	梯子で放水補助中、放水圧が急激にあがった為、梯子と共に転倒しそうになった。
3. 体験した事例の中心的要素	機関員が放水圧を急激に上げた為
4. 体験した事例の原因・理由	指揮者、機関員、隊員の安全確認不足

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。行動の実行に問題があった。
------------------	------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 8 年 10 月 日 午前 10 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：木造住宅
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 負傷事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落、転倒、
7. 事例体験時の活動	火災、木造建物 [現場活動初期、]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	放水活動、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[20]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士]、同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[22]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[4]年、階級[消防士]、同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[], 同様の活動 [], 任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	覚知	火災で覚知	
経過2	出動		
経過3	現着		
経過4	分隊長	梯子を使い2階居間に放水するように指示	
経過5	隊員	2名で屋根と梯子上で放水しているとき急激に放水圧が、あがった為2名とも転落、転倒しそうになったが、とっさに雨樋をつかんだことによって防げた。	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○負傷事故の場合 : 負傷事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。周囲の視界が確保できていた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・ 活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	いいえ
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	はい
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	はい
・ 隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

はい：機関員の能力不足
